

2040 年に向けた 保健師活動

保健師活動指針の改正を受けて

2040 年に向けてさらなる人口構造や社会環境の変化を迎える中で、自治体保健師の確保・育成や効率的な保健師活動の展開が求められている。厚生労働省は「2040 年を見据えた保健師活動のあり方に関する検討会」を開催し、2026 年（令和 8 年）2 月に「とりまとめ」を公表。これに基づき、5 月に「地域における保健師の保健活動について」が发出され、保健師活動指針が改正された。本特集では、これらの内容を踏まえ、激変する社会の中で保健師が担うべき新たな役割と、2040 年に向けた保健師活動のあり方を展望する。

- 2040 年を見据えた保健師活動のあり方に関する
検討から考える自治体保健師活動の展望
- 2040 年を見据えた新たな「保健師活動指針」について
- 自治体を超えた組織横断的な保健活動の推進
総合的なマネジメント機能を担う保健師とは
- 自治体の類型化と保健所の在り方および保健師の役割
公衆衛生行政に関わる立場から
- 地域保健対策・保健師活動ワーキンググループの検討結果からみた
2040 年に向けた戦略的な保健活動